「地域構想推進プラットフォーム」構築等推進事業

学都いしかわ地域構想推進プラットフォーム　～大学コンソーシアム石川（UCI)20年の実績を基盤とし、石川の未来を描く地域構想推進プラットフォームへ～

STAGE 1
現在地 ：UCI 20年の蓄積

大学コンソーシアム石川の20年の蓄積

UCI 20年

52団体
- 県内全高等教育機関 20
- 県内全地方公共団体 20
- 経済団体・国際機関 12

2006年 設立 → 2010年 一社 → 2016年 公社

石川県は人口当たりの
学校数：全国第2位　学生数：第3位

教育交流事業

いしかわシティカレッジ単位互換
- 高等教育機関による単位互換+市民への開放
- 全国へのオンライン配信
- 「石川県の行政」「石川県の市町」の講師は自治体の首長、幹部職員が務める
- 令和7年後期から広域単位互換制度に参加

地域連携事業

地域課題研究ゼミナール支援
- 地域課題解決型のPBL

石川未来プロジェクト
- 大学・学年・分野を超えたチーム
- 県の未来を議論し、知事等へ提言

学都いしかわ防災・復興ネットワーク
- 防災・減災、発災後の復興に資するための人材育成、啓発活動、情報収集・提供等を組織的に行う
- 2024年UCI能登分室（のと里山ポケモン・ウィズ・ユー空港）内に設置

STAGE 2
2026年～2028年：補助期間

「地域構想推進プラットフォーム」として強化

金融機関等含め、さらなる規模・質の拡大へ → 自走化へ

推進体制

推進体制の拡充とコーディネーター配置
- コーディネーター・事務職員の配置
- データに基づく人材需給分析の実施

戦略ユニットの設置
- 産業・高大院接続など石川県の課題に即したユニットの設置
- 既存の５専門部会を横断した機動的な構成

取り組み

2040年を見据えた協議の場構築
- 産：人材像提供・インターン・奨学金
- 官：高校改革・養成学部調整・能登定着
- 学：探究接続・先取り履修・地元就職
- 金：融資出資・奨学金返還企業の開拓

高校・大学・大学院の一体的改革
- 高校改革と連動（探究接続・合同FD）
- 成長分野への学部転換・リスキリング
- 人材育成と実習の場確保

評価

データに基づくPDCA・外部評価
- 石川県成長戦略のKPIと連動した目標
- 外部評価委員会によるKPI達成状況評価
- コーディネーター機能の年次評価

STAGE 3
2040年：完成形/自走化

人材育成ネットワーク「石川モデル」を全国に拡大

☆地域･広域ネットワーク連携による人材育成の実現
⇒人材育成「石川モデル」として全国へ波及



☆産業界との連携による
委託費・協賛金
☆国・県施策との連携による
外部資金
☆広域協議体としての
財源基盤の検討
⇒PFとして自走化

☆石川県における地域ニーズに応じた安定的な人材育成
⇒知の総和の拡大